

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

地産地消とは、地域で生産されたものを、その地域で消費することです。**(1) オ**、それによって、農業者と消費者の結び付きを強くしていこうという取り組みでもあります。最近、地産地消の大切さがよく言われています。では、**(2) エ**、地産地消の大切さが強調されているのでしょうか。それは日本の食料自給率に問題があるからです。昭和四十年代、日本の食料自給率は七十三%でした。**(3) ウ** 現在では、それがたったの三十九%です。その原因のひとつは日本人の食生活の洋風化です。日本人は、日本でたくさん取れるお米よりも、肉や乳製品、卵などの畜産物や油脂類をたくさん食べるようになり、**(4) ア**、日本の農産物の生産量が下がったのです。**(5) イ**、日本人が日本で取れるものをもっと多く食べるようになれば、国産の食べものの生産量を上げられることになります。このような背景があるからこそ、地産地消が大事なのです。

- ア その結果 イ 逆に言えば ウ でも エ なぜ オ さらに
- (1) オ** (大事な内容を加える) **(2) エ** (疑問の投げかけ) **(3) ウ** (逆の方向)
- (4) ア** (それによって起こった内容) **(5) イ** (同じ事実を逆方向から言う)

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次のカ～コから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

日本の伝統的な芸の道は、師匠から弟子への型の伝授を基本としてきました。何度も型を繰り返すことで、弟子が自ら悟って上達するのが「稽古」です。**(6) キ**、型の伝授には段階があります。高度の伝授は秘伝といって密かに特定の者だけに伝えられます。そして、もっとも高い芸の境地は、師匠の心から弟子の心へ「以心伝心」によって伝えられます。「以心伝心」とは、心をもって心に伝えること。**(7) カ** 無言のうちに心が通じ合うことです。ところで、この「以心伝心」の文化は、芸の道だけにとどまるものではありません。**(8) コ**、町の中や、家庭や学校の中、職場の中など様々な場所に「以心伝心」



の文化はあふれています。日本は伝統的に「以心伝心」を大切にして来た国なのです。
 (9) ケ、この文化を、世界の他の国々の人たちに理解してもらうのは難しいでしょう。
 (10) ク、現代に生きる皆さんには、しっかりと言葉でもって心を伝えるための、表現力と論理の力を身につけてほしいのです。

カ つまり キ また ク だからこそ ケ ですが コ 例えは

(6) キ (同じような内容をつけ加える) (7) カ (まとめて言う) (8) コ (例をあげる)

(9) ケ (期待と違う方向) (10) ク (理由を言うから主張をする)